

新しい時代の学校施設検討部会資料
「新しい学び」について

2021(令和3)年2月15日

文部科学省

天笠 茂(千葉大学特任教授)

「新しい学び」について

1. 中央教育審議会初等中等教育分科会（「答申」）の概要
2. 「個別最適な学び」と「協働的な学び」
3. 指導方法の多様化とICTの活用
4. 「授業時数の弾力化」について
5. 教育課程の編成－履修主義・修得主義の適切な組合せ－

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）

第Ⅰ部 総論

1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力
2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて
3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿
4. 「令和の日本型学校教育」の構築に向けた今後の方向性
5. 「令和の日本型学校教育」の構築に向けたICTの活用に関する基本的な考え方

第Ⅱ部 各論

1. 幼児教育の質の向上

2. 9年間を見通した新時代の義務教育の在り方について
3. 新時代に対応した高等学校教育の在り方について
4. 新時代の特別支援教育の在り方について
5. 増加する外国人児童生徒等への教育の在り方について
6. 遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について
7. 新時代の学びを支える環境整備について
8. 人口動態等を踏まえた学校運営や学校施設の在り方について
9. Society 5.0時代における教師及び教員組織の在り方について

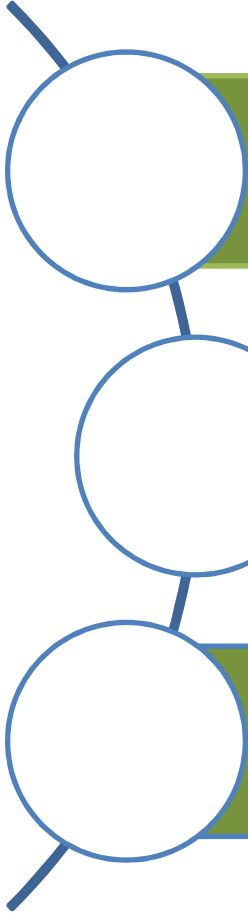
【総論】

3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿
「子供がICTも活用しながら自ら学習を調整しながら学んでいくことができるよう、『個に応じた指導』を充実することが必要」

【各論】

6. 遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について
 - (2)ICTの活用や対面指導と遠隔・オンライン教育とのハイブリット化による指導の充実
 - ②学習履歴(スタディ・ログ)など教育データを活用した個別最適な学びの充実
 - ④教師の対面指導と遠隔授業を融合した授業づくり

「個別最適な学び」について



- ・学習者の特性や学習進度、学習到達度などに応じ、指導方法・教材や学習時間などの柔軟な提供や設定

- ・自らの学習状況を把握し、学習の進め方について工夫し、調整しながら粘り強く取り組む

- ・興味・関心に応じ、課題の設定、子供自身による情報の収集、整理、分析、まとめ、表現を行うなど、主体的に学習を最適に

小学校学習指導要領における「個に応じる指導」(昭和) — 個人差に応じる指導 —

1947(昭和22)学習指導要領一般編(試案)	われわれは、児童または青年の精神や身体の発達について知り、 <u>その個人による違いに注意して、指導方法を工夫することがたいせつ</u> である。
1951(昭和26)学習指導要領一般編(試案)	
1958(昭和33)小学校学習指導要領	児童の興味や関心を重んじ自主的・自発的な学習をするように導くこと。 児童の <u>個人差に留意して指導し、それぞれの児童(生徒)の個性や能力をできるだけ伸ばす</u> ようにすること
1968(昭和43)小学校学習指導要領	児童の興味や関心を重んじ自主的・自発的な学習をするように指導すること。
1977(昭和52)小学校学習指導要領	
<p>・『<u>小学校教育課程一般指導資料Ⅲ—個人差に応じる学習指導事例集—</u>』(1984(昭和59年12月10日))</p>	

小学校学習指導要領における「個に応じる指導」(平成) —個性を生かす教育の充実—

1989(平成元)年小学校学習指導要領

・個性を生かす教育の充実

- ・各教科等の指導に当たっては、体験的な活動を重視するとともに、児童の興味や関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。
- ・各教科等の指導に当たっては、学習内容を確実に身に付けることができるよう、児童の実態等に応じ、**個に応じた指導**など指導方法の工夫改善に努めること。

1998(平成10)年小学校学習指導要領(2003(平成15)年一部改正)

・個性を生かす教育の充実

- ・各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や問題解決的な学習を重視するとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。
- ・各教科等の指導に当たっては、児童が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、**学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導**、教師の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。

2008(平成20)年小学校学習指導要領

・個性を生かす教育の充実

- ・各教科等の指導に当たっては、体験的な学習や**基礎的・基本的な知識及び技能を活用した問題解決的な学習**を重視するとともに、児童の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習が促されるよう工夫すること。
- ・各教科等の指導に当たっては、児童が学習内容を確実に身に付けることができるよう、学校や児童の実態に応じ、個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、**学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習など学習活動を取り入れた指導**、教師の協力的な指導など指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること。

新学習指導要領における「個に応じる指導」(令和) —個性を生かし協働を促す教育の充実—

2017(平成29)学習指導要領	<ul style="list-style-type: none">・<u>個性を生かし</u>多様な人々との<u>協働を促す</u>教育の充実に努めること。・児童が自らの学習課題や学習活動を選択する機会を設けるなど、児童の興味・関心を生かした自主的・自発的な学習が促されるよう工夫すること。	<p>第1 小学校教育の基本と教育課程の役割</p> <p>第3 教育課程の実施と学習評価</p> <p>1. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</p>

「協働的な学び」

-AI技術が高度に発展するSociety5.0時代にこそ一層高まる-

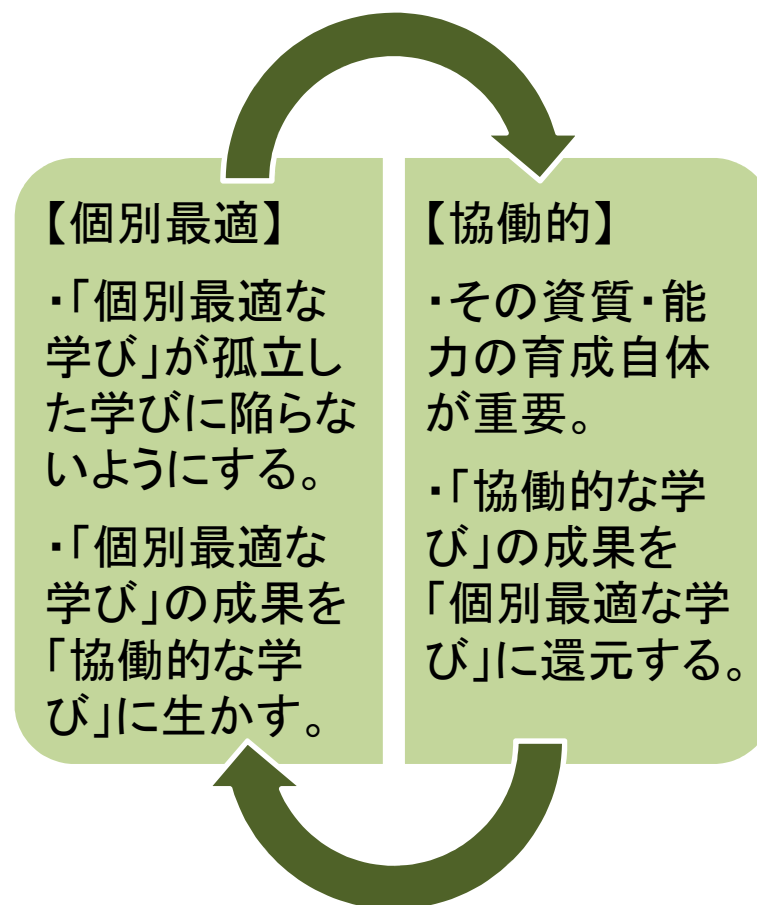


- ・同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや他の学校の子供たちとの学び合い

- ・同じ空間で時間をともにすることで感覚を働かせながらお互いを刺激し合う

- ・様々な場面でリアルな体験を通して共に学ぶ

「個別最適な学び」と「協働的な学び」 の往還を実現する



指導方法の多様化とICTの活用

教師への期待

- 学習履歴(スタディ・ログ)や生徒指導上のデータ、健康診断情報等をICTの活用により蓄積・分析・利活用しつつ、児童生徒の興味・関心や悩みなどを見取り、個々の状況を踏まえて指導する。
- 児童生徒が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を最適化することができるように促していく。

これまでの実践
とICTとの最適な
組合せ

- 教師の対面指導と家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育とを使いこなす(ハイブリッド化)。
- ICTを活用しながら協働的な学びを実現し、共に問題の発見や解決に挑む資質・能力を育成する。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先達の考え方を手探がりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

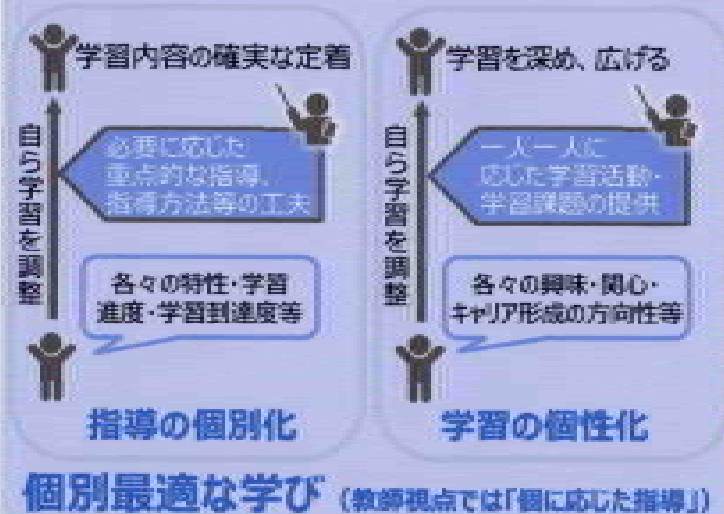
学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

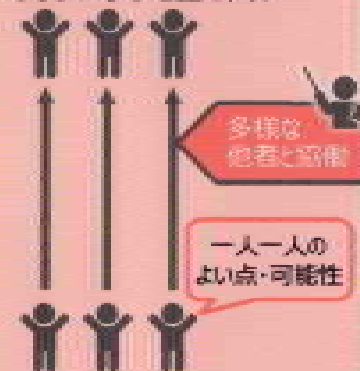
資質・能力の育成

一体的に
充実

授業外の
学習の改善



異なる考え方が組み合わせりよりよい学びを生み出す



協働的な学び

クラスメイト



これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

必修主義 ・個々人の学習状況に応じて学習内容を提供 → 一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視の考え方を生かす

・集団に対して共通に教育を行う → 一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含

履修主義 の考え方を生かす

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

※本資料は、「教育課程部会における審議の経緯」(令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会)に基づき、概念を簡明化し図表として整理したものである。

「授業時数の弾力化」について

○総枠としての授業時数(学年ごとの年間の標準授業時数の総授業数)は確保。

○学校裁量の幅の拡大の一環として、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化が可能となる制度を設ける。

＜制度を利用する学校＞

- ・家庭・地域に対して特別の教育課程を編成・実施していることを明確にする。
- ・他の学校や地域のカリキュラム・マネジメントに関する取組の参考となるよう、教育課程を公表する。

教育課程の編成

－履修主義・修得主義・年齢主義・課程主義について－

履修主義	所定の教育課程を一定年限の間に履修することでもって足りる。	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の期間をかけて共通の教育を行う性格を有する。 ・過度の同調性や画一性をもたらすことが心配される。
年齢主義	進学・卒業要件として一定年数の在学を必要とする。	同上
修得主義	履修した内容に照らして一定の学習状況が期待される。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々人の学習の状況や成果を問い、それぞれの学習状況に応じた学習内容を提供するという性格を有する。 ・社会性の涵養など集団としての教育が問われることは少ない。
課程主義	進学・卒業要件として一定の課程の修了を求める。	同上

履修主義・修得主義などを適切に組み合わせる

義務教育段階

- 進級や卒業の要件としては年齢主義に基本を置く。
- 教育課程を履修したと判断した基準については、履修主義と修得主義を適切に組み合わせる。
- それぞれの長所を取り入れた教育課程をめざす。

高等学校段階

- 修得主義と課程主義の要素が取り入れられていることを踏まえて教育課程を検討する。

参考資料

・中央教育審議会初等中等教育分科会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」
2021（令和3）年1月25日

・文部省『小学校教育課程一般指導資料Ⅲ—個人差に応じる学習指導事例集—』 1984年12月

・天笠 茂「学校を不断に見直す—学校施設の長寿命化をめぐる動き—」『千葉教育』令和元年度菊 658号 2020年2月

・天笠 茂「『個に応じる指導』と『個別最適化された学び』」『千葉教育』令和2年度萩663号 2020年9月